



# 第2部

## 逗子消防のいま



- 1 消防庁舎
- 2 消防車両
- 3 消防業務
- 4 救助業務
- 5 救急業務
- 6 通信指令室
- 7 緊急消防援助隊
- 8 逗子市消防団

# 消防庁舎

消防本部・本署・小坪分署・北分署

## 消防本部・消防署 本署

所在地 〒 249-0005 逗子市桜山2丁目3番31号  
TEL 046-871-0119 FAX 046-872-4330  
建築構造 鉄筋コンクリート造、地下1階 地上3階建  
敷地面積 1,300.3平方メートル 建築面積 804.1平方メートル  
建築延べ面積 2,522.9平方メートル 建築年月 平成4年3月



# 小坪分署

所在地 〒249-0008  
TEL 0467-25-4505

逗子市小坪5丁目21番4号  
FAX 0467-23-5293

建築構造 鉄筋コンクリート造、平屋建  
敷地面積 1,182.8平方メートル  
建築延べ面積 388.1平方メートル

建築面積 413.0平方メートル  
建築年月 昭和61年6月



所在地 〒249-0003  
TEL 046-873-6746

逗子市池子1丁目1番1号  
FAX 046-872-4091

# 北分署

建築構造 鉄筋コンクリート造、一部2階建  
敷地面積 931.3 平方メートル 建築面積 258.4 平方メートル  
建築延べ面積 312.4 平方メートル 建築年月 昭和54年3月



# 消防車両



## おもな消防車両

### 指揮指令車



車両名：逗子指揮指令 1  
配置：本部  
シャーシ：日産  
艀装：トノックス  
登録年月：平成13年11月



災害現場で指揮活動を行う車両。  
トランクルームには現場指揮で使用  
する折畳み机や、防火服等の装備が  
積載されている。

車両名：逗子 1  
配置：本署  
シャーシ：いすゞ  
艀装：ナカムラ消防化学  
登録年月：平成21年11月



### 消防ポンプ自動車



この消防車は、建物火災をはじめ、  
救急支援等様々な災害に対応するた  
め積載資機材は多岐にわたり、出場  
件数も救急車に次いで多い。

### 救助工作車(Ⅱ型)



車両名：逗子救助 1  
配置：本署  
シャーシ：日野  
艀装：帝商  
登録年月：平成23年 2月



人命救助に特化した救助工作車。  
様々な資機材を積載し、市内で発生  
したすべての火災、救助事案に対応  
する。

車両名：逗子梯子 1  
 配置：本署  
 シャーシ：日野  
 艀装：モリタ  
 登録年月：平成24年11月



## 30m級はしご付消防自動車

先端屈折式のはしご車。先端が屈折することにより、障害物を回避して着梯が可能。

## CAFS付 消防ポンプ自動車



車両名：逗子北 1  
 配置：北分署  
 シャーシ：日野  
 艀装：モリタ  
 登録年月：平成27年 3月



600リットルの水を積載し、現場到着した直後に放水を行うことが可能。また、特殊な泡を発生させることで、ごく少量の水で消火することもできる。

車両名：逗子水槽 1  
 配置：本署  
 シャーシ：三菱ふそう  
 艀装：畠山ポンプ  
 登録年月：平成16年 3月



## 災害対応特殊水槽付 消防ポンプ自動車



2,000リットルの水を積載しており、水利の乏しい現場での火災に対応できる。また、緊急消防援助隊に登録されており、東日本大震災では神奈川県隊として被災地に派遣した。

## 災害対応特殊救急自動車



車両名：逗子北救急 1  
 配置：北分署  
 シャーシ：トヨタ  
 艀装：トヨタテクノクラブ  
 登録年月：平成29年 9月



逗子市は3台の高規格救急車を運用しており、その中でも北分署に配置されている救急車は、緊急消防援助隊の救急隊として登録している。



あいうみ！



みどりゆたかな！



いわたし！

車両名：逗子搬送 1  
 配置：本署  
 シャーシ：日産  
 艤装：トノックス  
 登録年月：平成19年 1 月



## 防災資機材搬送車



台風災害時や人員資機材搬送時に活躍する。災害により積載品を選定して出場する多目的な車両。

## 広報査察車



車両名：逗子広報 1  
 配置：本部  
 シャーシ：日産  
 艤装：野口自動車  
 登録年月：平成20年 7 月



普段は、査察や予防啓発活動に使用され、災害時には広報活動や火災原因調査等を行う。

## 本國車



## 消防団に配置されている車両

消防団の指揮活動を行う車両で、指揮板等を積載している。  
 また、可搬ポンプを積載することができ、より狭あいな現場での活動が可能となっている。

## 消防団消防ポンプ自動車



第1・3・6・7分団

常備車両と同等のA2級ポンプを搭載するとともに、車両後部にホースカーを積載。

## 消防団小型動力ポンプ付積載車



第2・4・5・8・9分団

小さい車体と、可搬型のポンプを活用し、車両が乗り入れることができない火災に対応できる。

# 被服の種類

それぞれの職務に合わせてデザインが違います。



## 防火服

耐火性はもちろん、耐火創性にも優れるため、火災以外にも様々な現場で隊員を保護する。



## 活動服

一般隊員等が着用する活動服。



## 救助服

視認性に優れ、通常の活動服に比べて擦れ等に強い作りになっている。



## 制服



式典や査察時に着用する。右は女性用の夏服。



## 救急服

清潔感のある白色の救急服。出場時は、左の感染防止衣を着装する。



耐熱服



放射線  
火災防護服



化学防護服  
(防護レベル高)



化学防護服  
(防護レベル中)



化学防護服  
(防護レベル低)

## 特殊災害用防護服

みどりゆたかな！



あおうみ！



いわたし！

# 消防業務

各種災害対応 火災原因調査など

## 災害を打ち消し危険を防ぐ



逗子消防

一般住宅 建物火災

### 日々進化を求められる消防

逗子市では、消防が昭和25年7月1日に横須賀市から独立して2台の消防車で運用を開始しました。現在では、1件の火災(建物)に対して、消防車両など約10台と約30名の消防職団員が駆けつけて対応します。

火災の年間最多件数は昭和46年の36件で、最少件数は平成29年の3件となっています。しかし、火災発生件数は減少傾向にあるものの、まだまだ多くの火災が逗子市内で発生しています。現在は、建物の多様化が進み、高気密高断熱の建物が増えており、火災も時代の流れとともに変化しています。



逗子銀座通りの火災



# 火災原因調査 火災「0」を目指して。原因を追究する。

消防の仕事といえば、消火や救助、救急といった表舞台に注目が集まりがちですが、舞台裏で文字通り地を這うような活動で火災と戦う火災原因調査も消防の大事な仕事です。

火災原因調査は消防の原点といわれており、消防行政で様々な資料に使われています。

原因を追究することによって、今後同じような火災が1件でも予防することができるよう調査員は経験と知識を武器に火災と戦っています。



鎮火後の火災現場

## 火災再現実験

考えられる原因が実際に火災になるかを再現して確認するのが火災再現実験です。

この結果から原因を確定させることがあるため、実際の配置や距離、部材を正確に聴取して再現します。

## 火災の原因はその時代の現れ

火災の原因は時代の流れとともに変化しています。火遊び、たき火、風呂かまどによる火災件数は昭和初期から中期にかけて火災原因の上位に名を連ねていましたが、時代の流れとともに減少傾向にあります。火遊びによる火災は、国内でも昭和55年頃を境に急減し、その後も着実に減少しています。また、喫煙者の減少や電子たばこ化が進んだこと、身の回りにマッチやライターがなくなってきたことなども火遊びが減少した大きな原因ではないかと考えられています。

## さまざまな調査



北川式検知管



配線復元



炭化深度測定器



ベンチが燃えた火災の再現



仏壇火災の再現



# 消防訓練指導

逗子消防では、市民の皆様が日々使用している建物などでの有事の際、落ち着いて避難や消火ができるよう消防訓練指導を行っています。消防訓練を継続的に行うことにより高い知識とスキルを向上して、防火の意識を身に付けてもらい、火災を減らすことを目的としています。



昭和時代の消火訓練



バケツリレー訓練



消火器を使用した消火訓練

## 火災予防啓発

火災予防フェア、煙体験ハウス、消火体験、露店等査察、住宅防火啓発など、火災予防に関する啓発を行っています。

### 露店等査察



市内で出店する露店等に対して消火器の設置やプロパンガスの設置、使用方法などを確認する。

### 火災予防フェア



消防クイズ



はしご車搭乗体験

### 広報活動



火災予防運動期間中に市内の主要な箇所では消防職員が火災予防チラシをポケットティッシュとともに配布している。



全国消防イメージキャラクター「消太」くんとのおふれあい

消火体験、煙体験ハウス、消防クイズブースなどを設置し、住宅防火に対して意識を高めることを目的としている。

# 庁舎見学

保育園、幼稚園、小学生を対象に消防庁舎や消防車両の見学、防火服などの試着体験、消防職員による消防訓練の展示など、子供たちが興味を持ってくれそうな内容を考え実施しています。



車両の説明や乗車体験



庁舎見学の最後はみんなで記念撮影



子供達が感謝の気持ちを形にしてくれました。

みんなの笑顔 守ります



# 米海軍池子消防隊

逗子市内でともに消防業務に携わる米海軍池子消防隊と逗子消防は定期的に合同訓練を行い、連携やお互いのスキルアップを図っています。



合同訓練

## 池子フレンドシップデー



例年、「池子の森自然公園」400mトラックで開催される地域交流イベントです。アメリカンフードや日本の飲食屋台、音楽ライブ演奏に米海軍池子消防隊の車両や逗子市消防署のはしご車展示など、たくさんのブースがある大人気の祭典です。



みどりゆたかな！

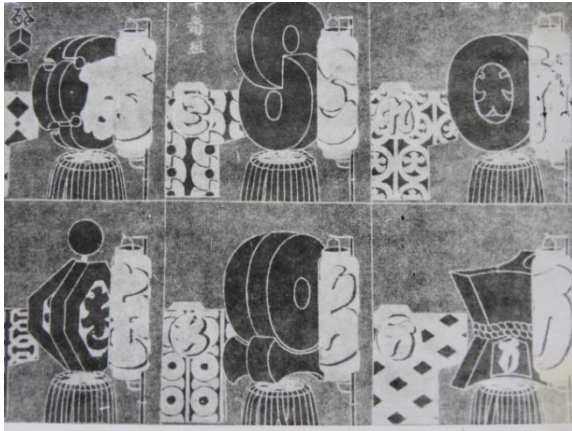


# 逗子市消防出初式

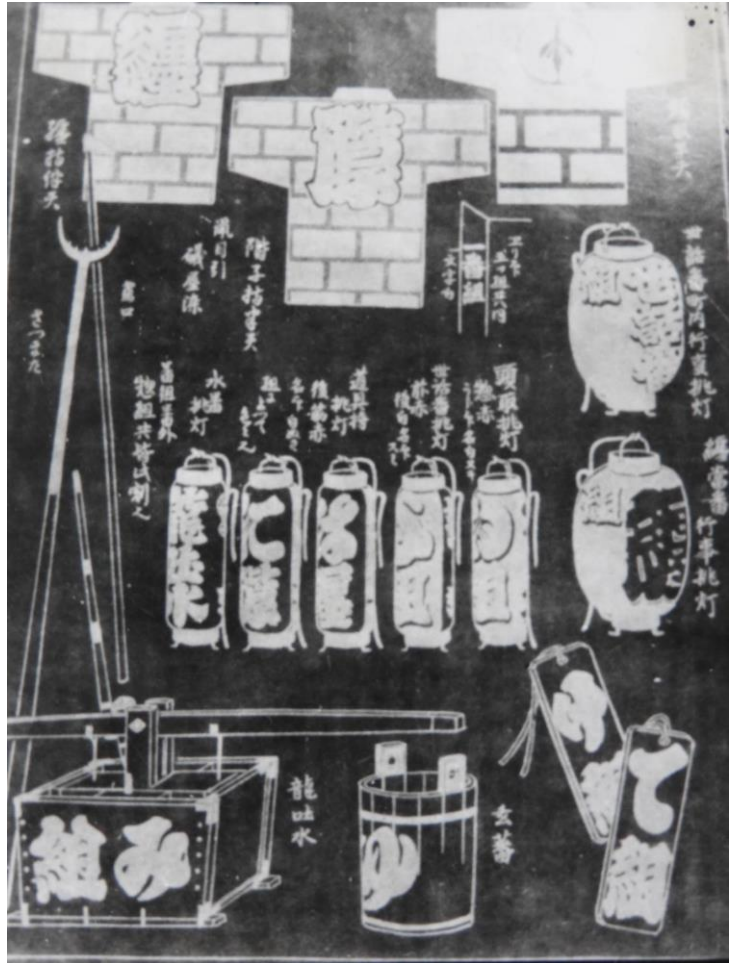
市民とともに安全で安心なまちを目指して

新春恒例行事の一つである「消防出初式」の起源は、江戸時代の万治2年（1659年）まで遡ります。

明暦3年（1657年）の大火を契機として、万治2年（1659年）1月4日、江戸の上野東照宮前で出初を行って氣勢をあげたことが、当時焦土の中であって苦しい復興作業に絶望状態であった江戸市民に、大きな希望と信頼を与えたことが始まりと伝えられています。



江戸火消し組の纏(まとい)



江戸火消し組の火消の七つ道具

## 逗子市消防出初式の変遷

～昭和中期～



逗子町消防本部発足当時の消防出初式



古式消防演技



～昭和後期～



式典での纏(まとい)振り等

消防出初式で獅子舞を披露

消防出初式は、消防職団員の士気及び消防装備並びに災害防ぎょ技術を各種訓練等で披露し、広く防火・防災意識の高揚を図るとともに、消防への理解と信頼を深めることを目的としています。

～平成・令和～



消防関係表彰式



市内の高校生による演奏披露



みどりゆたかな！



消防団による操法演技



あおいうみ！



いわたし！

# 救急支援出場 (PA出場)

消防ポンプ車(Pump)と救急車(Ambulance)の頭文字をとったもので、消防車と救急車が連携して出場します。

## 一人でも多く、1秒でも早く助けるために



1分1秒を争う心肺停止事案等、迅速かつ高度な救命処置が必要な事案では、救急隊による応急処置の補助や、救命資器材の搬送補助を行うため出場します。

高台や海浜、狭い住宅からの搬出や、車両停車位置から現場までが長距離な場合等、救急隊3名では搬出が危険で困難な場合に出場します。



救急要請のあった場所の近くに救急車がない場合に出場します。救急資格を有する隊員が乗車しており、救急車が到着する間、応急処置等を行います。

横浜横須賀道路や交通量の多い場所での救急事案で出場します。救急隊員や傷病者の安全管理を行い、二次災害防止を図ります。

## 今までも、これからも、PA連携で救急活動をより安全・確実・迅速に

平成25年からの統計では、同年の422件をピークに、平成28年の248件まで減少傾向でした。これは、逗子海岸海水浴場の規制強化による人口流入の減少が考えられます。

しかし、平成29年からは再び増加傾向にあり、少子高齢化に伴う救急出場件数の増加などが背景にあると考えます。また、受け入れ先の医療機関がなかなか決まらず、1件あたりの救急出場時間が延び、結果的に救急支援出場件数が増加していることも考えられます。

今後もこのような状況が続くことが予想されますが、一人でも多く、1秒でも早く助けるため、救急隊と消防隊の連携をより一層強化し、増加する出場に対応します。

年	心肺停止 (疑い含む)	搬出困難	全隊出場中	自動車専用 道路等	その他	計
平成25年	181	156	64	17	4	422
平成26年	145	78	21	11	12	267
平成27年	125	56	58	12	15	266
平成28年	136	37	49	15	11	248
平成29年	133	36	64	4	14	251
平成30年	160	50	43	11	15	279
令和元年	147	44	60	6	23	280

上記のほか、多数傷病者、加害、イベント等で群衆警戒が必要な場合等で、出場した救急隊からの要請や、入電時に通信指令員が消防隊の必要があると判断した際に出場します。

# 救助業務

人命救助のスペシャリスト



逗子消防救助隊

## ～ 逗子消防救助隊の誕生～

昭和62年1月に「救助隊の編成、装備及び配置の基準を定める省令」が施行され、全国の消防に救助隊が配置される約20年前の昭和41年4月、全国に先駆けて救助隊を配置していた横浜市消防局に約2週間の日程で体力、精神力及び救助技術を習得するため、逗子市から8名の職員を派遣した。

そして同年5月、当時の第二分隊(隊員5名)で兼任救助隊を編成・配置し、逗子消防救助隊が誕生した。

## 救助隊

災害現場の最前線で、専門的な知識、技術及び特殊資材を駆使し、人命の検索・救助活動を行うことを任務とする部隊。また、現場において失敗は許されないため、日頃からの鍛錬や強い精神力が必要とされる。



# 訓練の歴史

救助隊の歴史は、訓練の歴史と言っても過言ではない。「訓練でできないことは、現場でもできない」と肝に銘じている。時代とともに変化する訓練もあれば、変わらない訓練もある。

## 昭和中期

昭和41年に発足した逗子消防救助隊。  
現在でも行われているロープ渡過や座席降下、救命索発射銃の訓練は、この頃から行われていた。

## 昭和後期

資機材が充実し始めた昭和後期は、車両や資機材を活用した訓練が実施されるようになった。  
また、消防出初式において様々な演技が行われるようになった。

## 平成

阪神淡路大震災や地下鉄サリン事件が発生したのも平成。  
市民の消防に対する期待がさらに増し、災害対応力向上のため様々な装備や体制が整備された。  
また、大規模災害等に対応するため、他機関との合同訓練が活発に行われるようになった。

## 令和

東京オリンピック・パラリンピックが開催予定であるため、テロ対策や多数傷病者対策訓練が活発になった。  
また、火災件数減少による若手職員の経験不足を補うため、想定訓練や部隊の連携訓練が重視されるようになった。

逗子消防救助隊が発足して約半世紀。時代とともに変化する社会情勢に遅れを取ることなく、日々知識・技術・体力の向上に努める救助隊。災害の最前線には今までも、これからも、オレンジ色の服を着た隊員たちがいる。



# 救助活動

日々様々な訓練を行い、いつ起きるかわからない災害に備える。



ガス酸欠事故。硫化水素ガスが発生した建物内での活動のため、空気呼吸器や化学防護服を装着し活動を行った。



横浜市航空隊及び横須賀市救助隊と連携した山林救助。日頃の訓練が大きく活かされる。



交通救助事故。横浜横須賀道路では、発生場所により横浜市や横須賀市と連携する。



感電事故。作業員が高電圧線に接触して感電。二次災害のおそれがある中、鉄塔上から要救助者を救出した。

## 救助隊を中心とした

## さらなる市民サービスの向上を目指して



横浜市航空隊との連携訓練



米海軍池子消防隊との連携訓練



# 全国消防救助技術大会

一般財団法人全国消防協会では、昭和47年から毎年、全国消防救助技術大会を開催している。

救助隊は、全国で約1,500隊、約24,000人おり、各地区の指導会で優秀な成績を収めた隊員が全国大会へ出場できる。

逗子市でも「陸上の部」及び「水上の部」ともに全国大会に出場し、優秀な成績を収めてきた。



東京都で開催された第1回大会

平成16年、全国消防救助技術大会での実績が評価され、逗子市長表彰を受けた。

## 逗子市消防救助技術大会

昭和55年の第1回から平成元年の第10回まで開催した逗子市消防救助技術大会。

当時の本署訓練場で実施した訓練種目は、ロープブリッジ渡過訓練及びほふく救出訓練のみであった。また、選手宣誓や表彰式も行われ、大会記録誌も発行していた。



入場行進



ロープブリッジ渡過訓練



選手宣誓



職員が手作りした大会記録誌

# 全国消防救助技術大会出場実績

	開催日	開催地	場所	種目	出場選手
第1回	昭和47年9月28日	東京都	豊島園	ロープブリッジ渡過	小林有平
第8回	昭和54年8月24日	大阪市	消防学校	水中検索	青木利弘
第9回	昭和55年8月29日	名古屋市	白川公園・瑞穂プール	水中検索	青木利弘
第10回	昭和56年8月19日	横浜市	消防訓練センター	水中検索	青木利弘
第11回	昭和57年8月19日	横浜市	消防訓練センター	水中検索	青木利弘
第12回	昭和58年8月19日	大阪市	大阪城公園・市消防学校	水中検索	青木利弘
第13回	昭和59年8月24日	名古屋市	白川公園・瑞穂プール	水中検索	青木利弘
第14回	昭和60年8月23日	広島市	中央公園・県立屋内プール	複合検索	青木利弘
第15回	昭和61年8月22日	神戸市	神戸市王子プール	複合検索	青木利弘
第17回	昭和63年8月19日	横浜市	消防訓練センター	複合検索	青木利弘
第18回	平成元年8月25日	名古屋市	白川公園・瑞穂プール	ロープブリッジ渡過	林行雄
第19回	平成2年8月24日	広島市	中央公園・ファミリープール	ロープブリッジ渡過 複合検索 基本泳法	林行雄 青木利弘 宮川浩司
第20回	平成3年8月28日	大阪市	消防学校	溺者救助	照井仁蔵・吉田茂・宮川浩司
第21回	平成4年8月28日	千葉市	消防学校	ロープブリッジ渡過 複合検索 溺者救助	坂本陽一 宮川浩司 照井仁蔵・吉田茂・宮川浩司
第22回	平成5年8月20日	福岡市	アジア太平洋センター建設用地	ロープブリッジ渡過	坂本陽一
第23回	平成6年8月25日	京都市	消防学校	ロープブリッジ渡過	坂本陽一
第24回	平成7年8月25日	北九州市	北九州市文化記念公園	ロープブリッジ渡過 溺者搬送	坂本陽一・熊坂篤範 福島英人・今井和彦
第26回	平成9年8月22日	千葉市	消防学校	ロープブリッジ渡過	熊坂篤範
第27回	平成10年8月28日	大阪市	消防学校	ロープブリッジ渡過	熊坂篤範
第28回	平成11年8月19日	横浜市	消防訓練センター	ロープブリッジ渡過 ロープ登はん はしご登はん 溺者搬送	熊坂篤範 鈴木頼嗣 石黒誠 福島英人・菅慶久
第29回	平成12年8月18日	熊本市	熊本市総合屋内プール (アクアドームくまもと)	ロープ登はん	鈴木頼嗣
第30回	平成13年8月8日	東京都	豊洲訓練場・辰巳国際水泳場	ロープ登はん 溺者搬送	鈴木頼嗣 福島英人・菅慶久
第31回	平成14年8月23日	名古屋市	消防学校	ロープ登はん はしご登はん 溺者搬送	鈴木頼嗣 石黒誠 福島英人・菅慶久
第32回	平成15年8月28日	仙台市	仙台市泉総合運動場	ロープ登はん ロープ応用登はん はしご登はん 溺者搬送	鈴木頼嗣 熊坂篤範・河野智紀 石黒誠 福島英人・菅慶久
第33回	平成16年8月26日	神戸市	広域防災センター	ロープ応用登はん はしご登はん 溺者搬送	鈴木頼嗣・藤井延欣 石黒誠 福島英人・菅慶久
第34回	平成17年8月25日	さいたま市	岩槻文化公園	ロープブリッジ渡過	池ヶ谷健市
第36回	平成19年8月22日	東京都	東京消防庁 夢の島消防訓練場	ロープブリッジ渡過	池ヶ谷健市
第42回	平成25年8月22日	広島市	旧広島市民球場跡地	ロープブリッジ救出	河野智紀・増満陽太 菅原慎之介・齋藤大輔



# 救急業務

はじまりから救急救命士の誕生など

## はじまりは海岸から病院まで

昭和20年代の後半に入ると戦後の混乱もようやく落ち着きを取り戻し、生活の安定とともに余暇を楽しむ人たちが夏の逗子は賑わいをみせるようになりました。なんと、その数は当時の人口の約10倍近くにもなる人です。観光客が増加するにあたって、海岸では熱中症などの急病人、海水浴中

のけが人などが多く発生するようになり、消防署はそれまでになかった応急救護対策が必要となりました。

そこで昭和28年7月、乗用車に簡易的な担架などを積み、急病人やけが人を病院まで搬送したのが、消防署での救急活動の草分けとして記録されています。



最初に急病人やけが人を病院へ搬送した車

## 昭和38年 消防法の改正 -救急隊の発足-

消防法の改正に伴う逗子市消防救急隊設置規則（昭和38年7月逗子市規則第11号）の制定により、逗子市で本格的な救急業務が開始された。同時に救急車両の更新、救急資器材の導入を行った。

現場から病院まで患者を搬送することに専念していた業務から、搬送中に必要な応急処置を実施するようになり、現在の救急隊の前身と言えます。

この頃の出動件数は、1日あたり平均1件でした。しかし、日に日に救急業務の需要は高まり、出動件数は増加傾向となっていきます。



救急業務が開始されたばかりの頃の出動風景

# 平成3年 救急救命士制度



救急救命士の資格は、救急隊員として5年又は2,000時間以上救急業務に従事した後、835時間以上の養成課程を修了し、国家試験に合格して初めて取得できます。

逗子消防でも救急救命士を運用するため、救急救命士養成所に職員を派遣し、救急救命士を養成しています。

救急救命士が誕生したことにより、医師の具体的な指示があった場合には、次の3つの特定行為を行うことが可能となりました。

- ① 半自動式除細動器を用いた電気ショックによる除細動
- ② 乳酸加リンゲル液を用いた静脈路確保のための輸液
- ③ ラリングアルマスクやツーウェイチューブ等を用いた気道確保



手動式蘇生器



人工呼吸器



現在の救急車

## プレホスピタルケアのプロを目指して



看護師と協力して応急手当

### 救急車についてるマークの意味



スターオブライフ

マーク中央にデザインされている杖は、「アスクレピオスの杖」と呼ばれるものです。アスクレピオスとは、ギリシャ神話に登場する医学の神様。死者を生き返らせるほどの名医になったとされています。

星のような6本の突出した柱にはそれぞれ意味があり、頂点から時計回りの順に、救命救急の基本のプロセスを表しています。

世界中で救急医療のシンボルマークになっています。



# 救急救命処置の拡大

平成15年4月 除細動(電気ショック)を包括的指示として  
特定行為から除外  
(包括的指示：事前に医師の指示が示されている。)



半自動式除細動器



気管挿管チューブ

平成16年7月 気管挿管チューブを用いた気管挿管

平成18年4月 アドレナリン (エピネフリン) の投与



アドレナリン

平成21年3月 エピペン (自己注射型エピネフリン製剤) の使用  
(処方されている本人及び家族が注射できない場合)



エピペン

平成23年8月 ビデオ挿管用喉頭鏡を用いた気管挿管



ビデオ喉頭鏡

平成26年4月 心停止前の輸液  
血糖測定・ブドウ糖溶液の投与



ブドウ糖溶液



血糖測定器



輸液

(L - 乳酸ナトリウムリンゲル液)

## 新型コロナウイルス感染症とのたたかい



救急車内の養生



感染防止衣 つなぎ服タイプ

新型コロナウイルス感染症は2019年12月から世界的流行となった。

新型コロナウイルスの感染経路や特性を踏まえ、陽性患者や地域の感染拡大状況等から感染を疑う傷病者に応じ、感染防止対策を実施し救急対応しています。

感染しない、させないために救急車内の養生、救急隊員の感染防護をしっかりと行っています。

# 通信指令室

あなたの”もしも”に備えています。



通信指令室

## 市民の声 119番通報

運子市内で119番通報を行うと、消防署の通信指令室に繋がります。私たちが最初に必ず聞くことは「119番消防です。火事ですか？救急ですか？」の質問です。その後、具体的な通報事案の内容、車両を向かわせる住所や氏名など必要な情報を確認します。

災害の概要が判明すると出場隊が自動的に編成され、各署所と各車両に出場指令が流れ、概ね20秒で出動します。



発足当時の通信室

運子消防が発足した  
ころの電話は、電話局  
の交換手により消防署  
まで接続されていました。

年間にある119番通報  
約5,000件



# さまざまな119番通報に対応するために 高機能な機器の導入を進めています。

## 指令台



ワンタッチで予告指令や本指令、また、消防車両などの現在地をリアルタイムに把握できるため、災害現場へ迅速に出場させることができます。

## 発信位置情報表示システム



119番通報と同時に通報者の位置が特定できます。携帯電話からの通報では、通報者が要請場所の住所がわからないこともあり、表示された地図から通信指令員が場所の確認を行います。

## 車両運用管理装置 (AVM)



出場車両に災害発生場所や災害対応に必要な情報を通信指令室から送信することができます。

## NET119 緊急通報システム

NET119は、聴覚・言語機能に障がいがあるなど音声による通話が困難な方が、スマートフォン等からインターネットを利用して119番通報を行うことができるサービスです。専用のアプリケーションを使用して、指令員とチャット形式での会話が可能になりました。



通報場所の地図が表示される(消防側PC)



消防側通信機器



通報者側スマートフォン



# 通報から隊員が到着するまで

通信指令室で、119番通報を受付けているのは、消防職員です。経験豊富な消防職員が対応するからこそ冷静に通報内容を把握して、必要な車両や人員の選定を行い、迅速確実な出場指令を行っています。通報者に対して口頭指導など様々な事案に対応することができます。



## 口頭指導 あなたの勇気が大事な人の命を救う。 通報時に応急処置をサポートします。

口頭指導とは、救急車が到着するまでに少しでも傷病者の容体が良くなるように、通報をされた方に応急手当や応急処置をお願いするものです。口頭指導には心肺蘇生法、止血法（出血をしている箇所を直接押さえて圧迫止血する等）と様々な種類があります。私たち指令員はどんな方にもわかりやすく、落ち着いて必要な処置を行ってもらえるよう普段から言葉などを工夫して口頭指導を行っています。通報された方は初めてのことでわからなかったり、焦りがあったりして、うまくできないこともあります。通報者が勇気をもって実施することができるよう案内しています。



口頭指導と応急処置

緊急出動にかかる緊急度識別ガイドライン 《三陸半島地区メディカルコントロール協議会》		
緊急度	対応方針	プロトコル
1 最急	災害で怪け、検査で怪けか？	心肺蘇生、止血法、圧迫止血、気管挿入、骨格固定
2 緊急	救急車到着まで応急処置が必要か？	心肺蘇生、止血法、圧迫止血、気管挿入、骨格固定
3 準緊急	救急車到着まで応急処置が必要か？	心肺蘇生、止血法、圧迫止血、気管挿入、骨格固定
4 準準緊急	救急車到着まで応急処置が必要か？	心肺蘇生、止血法、圧迫止血、気管挿入、骨格固定
5 準準準緊急	救急車到着まで応急処置が必要か？	心肺蘇生、止血法、圧迫止血、気管挿入、骨格固定
6 準準準準緊急	救急車到着まで応急処置が必要か？	心肺蘇生、止血法、圧迫止血、気管挿入、骨格固定
7 準準準準準緊急	救急車到着まで応急処置が必要か？	心肺蘇生、止血法、圧迫止血、気管挿入、骨格固定
8 準準準準準準緊急	救急車到着まで応急処置が必要か？	心肺蘇生、止血法、圧迫止血、気管挿入、骨格固定
9 準準準準準準準緊急	救急車到着まで応急処置が必要か？	心肺蘇生、止血法、圧迫止血、気管挿入、骨格固定
10 準準準準準準準準緊急	救急車到着まで応急処置が必要か？	心肺蘇生、止血法、圧迫止血、気管挿入、骨格固定

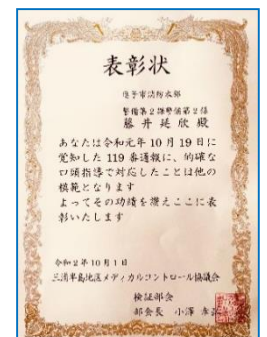
緊急度識別ガイドライン



教育テキスト

## 逗子市内で起きた実例

令和2年5月、市内の商業施設で心肺停止事案が発生しました。近くにいた目撃者が119番通報し、通報者と近くにいた協力者で心肺蘇生法を実施し、救急隊が到着するまで続けました。早急な対応と効果が的確であったこともあり、傷病者はその後社会復帰されました。この協力者に対して、逗子市消防長から感謝状を贈らせていただきました。このような事例はその他にも数多くあり、今後も通報者、協力者、通信指令室で協力して命を繋げられるようわかりやすい口頭指導を続けていきます。



口頭指導への表彰状



# 緊急消防援助隊

全国から応援に駆け付ける「消防の絆」



宮城県へ向かう神奈川県隊の車列



## 緊急消防援助隊ロゴマーク

緊急消防援助隊として全国の消防本部から出動する隊員同士が、固く結束し、困難な場面に立ち向かう力強さを表現している。

# 緊急消防援助隊

1995年(平成7年)1月17日に発生した阪神・淡路大震災。この震災では、逗子市を含めて全国41都道府県から延べ約30,000人の消防応援が実施された。しかし、当時は全国規模での災害派遣体制は存在せず、初動や活動において様々な課題を残した。

これを契機に、現在の総務省消防庁は全国の消防応援を迅速・円滑に実施するため、同年6月に緊急消防援助隊制度を発足させた。

## 逗子隊の編成

緊急消防援助隊には指揮支援隊や航空隊、消火小隊、救助小隊等の部隊区分があり、災害の種類・態様に応じて出動する部隊が異なる。

逗子市では消火小隊1隊、救急小隊1隊、後方支援小隊1隊を登録している。

車両は、上空から容易に識別できるための対空標示があるほか、「緊急消防援助隊神奈川県隊」の標示を掲げて出動する。

### 消火小隊

災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車

車両名：逗子水槽1

対空標示：「神奈川タンク」

### 救急小隊

災害対応特殊救急自動車

車両名：逗子北救急1

対空標示：「神奈川救急」

### 後方支援小隊

人員資機材搬送車

車両名：逗子搬送1



# 災害出動実績

緊急消防援助隊は創設以来、平成16年新潟県中越地震、平成17年JR西日本福知山線列車事故等、様々な大規模災害に全国から派遣された。

逗子市では、平成23年に発生した東日本大震災の際に、同年3月11日から3月20日までの間、消火隊と後方支援隊として計15名を宮城県仙台市へ派遣した。



緊急消防援助隊  
National Fire Service Team for Disaster Response

## 逗子隊の活動記録



現場に到着



倒壊建物の検索



雪の重みで潰れたテント



要救助者の搬送



要救助者の搜索

# 隊員の教育・準備

いつ発生するかわからない大規模災害。緊急消防援助隊としての派遣要請を受けて迅速に出場し、確実な活動が実施できるよう、定期的に訓練を行っている。

逗子市単独で行う訓練はもちろん、他の消防本部と連携した訓練も行っている。



## 経験を伝える

車庫や地下の講堂等を活用した野営訓練や、小坪分署訓練場を使用した震災想定の大規模救助訓練を行っている。

野営訓練は年間を通して行い、夏の猛暑や冬の寒さを実際に体感しておく。



# 神奈川県緊急消防援助隊合同訓練

神奈川県下の消防本部との連携強化のための訓練を実施している。



# 緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練

定期的に、他県部隊との連携を強化するため、合同訓練を行っている。神奈川県隊として集結、部隊編成を行った後、県外の訓練施設へ出動し、訓練を実施する。



# 逗子市消防団

「自分たちのまちは、自分たちで守る。」

逗子市消防団は、昭和25年に逗子町消防団として発足し、昭和29年の市制施行に伴って名称を逗子市消防団に改め、現在に至っています。

逗子市消防団は、本団4名をはじめ、9つの分団で構成された、定数139名の消防団です。

平成28年10月には、女性消防団員が初めて誕生し、男性消防団員と一緒に活動を行っています。

逗子市消防団は、規律ある部隊行動が特徴で、毎年新春に開催される消防出初式では、全分団が集結し、分列行進を披露しています。

消防団は、自らの手で災害から郷土を守ろうとする精神に基づき、地域の有志の方々によって組織されています。

その構成員である消防団員は、日常は各自の職業に従事しながら、火災や風水害などの災害が発生した際には、消防の業務に従事しています。

消防団の果たす役割は特に大きく、地域防災の中核として、その活躍が期待されています。



明治大正期の防火服

# 各分団受持区域

- 第1分団 返子
- 第2分団 桜山下
- 第3分団 沼間
- 第4分団 池子
- 第5分団 山の根

- 第6分団 久木
- 第7分団 小坪
- 第8分団 新宿
- 第9分団 桜山上



# 3方面警備体制



# 消防団車両の歴史

昭和20年代



昭和20年代は、三輪自動車で座席がなく消防団員は、車両の側方や後方に立って出動していました。

昭和40年代



昭和40年代は、四輪自動車となり座席はありますが、まだルーフもドア也没有せん。

昭和60年代



平成20年代



令和 (現在)



## 進化する消防団車両

昭和60年代からは、現在の車両とほぼ同規格となっており、平成後期から令和になると、消火資機材だけでなく、救助活動もできるよう油圧救助器具などの資機材を積載するようになりました。



# 活動拠点 消防団詰所

消防団詰所は、消防団員が災害活動を行うための拠点となる施設で、必要な消防自動車や消防ホース等を格納しています。

災害活動が長時間にわたることを想定して、仮眠スペースや浴室、女性消防団員の活動スペースも消防庁舎同様に整備している施設です。

## 老朽化した詰所の整備計画

阪神・淡路大震災では、住宅・建築物の倒壊等により多くの人命が奪われました。以降も東日本大震災をはじめとする大きな地震が頻発しており、首都直下型地震や南海トラフの海溝型地震などいつ発生してもおかしくない状況です。

災害拠点である消防団詰所も築年数により老朽化しているため、順次建替えを計画しています。

After !

### 第2分団詰所（桜山8丁目）



平成30年度 建替え

Before ...



築 昭和43年11月

Before ...



築 昭和47年3月

After !

### 第6分団詰所（久木6丁目）



平成26年度 建替え



# 訓練・研修

## 他市町合同訓練

他市町との連携強化を図るため、定期的に消火訓練などを行っています。

連携強化!



## S-KYT (危険予知) 訓練

外来講師による講義を受け、現場に潜んでいる多種多様な危険について学びました。



確認  
ヨシっ!



## セーフティ・ファーストエイド研修

心肺蘇生法や止血法を学んでいます。





新入団員基礎訓練



津波避難訓練



夜間訓練



市民まつり



市長夜間特別巡視



各分団定例訓練



総合防災訓練



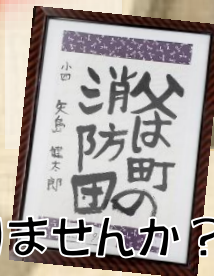
# 消防出初式

新春恒例行事で、消防団員による一斉放水や消防操法のほか、各種の表彰を行っています。  
高校生による和太鼓や吹奏楽の演奏もあり、来場者を楽しませてくれています。



## 消防団員募集PR活動

逗子のまち、一緒に守りませんか？



消防団員募集ポスター



横断幕掲出 JR逗子駅

消防出初式などの大きなイベントにおいて横断幕を掲出しPRしています。また、ご賛同いただいた企業や店舗前にてポスターの掲示も行い、多くの方の目に付くよう努力しています。



ポスター掲示 「清田牛肉店」



ポスター掲示 「三盛楼」

# 神奈川県消防操法大会記録

開催時期	出場種別	出場分団
平成 2年 (第37回)	小型ポンプ	第4分団
平成 4年 (第38回)	小型ポンプ	第5分団
平成 6年 (第39回)	ポンプ車	第6分団
平成 8年 (第40回)	ポンプ車	第7分団
平成10年 (第41回)	小型ポンプ	第8分団
平成12年 (第42回)	小型ポンプ	第9分団
平成14年 (第43回)	ポンプ車	第1分団
平成16年 (第44回)	小型ポンプ	第2分団
平成18年 (第45回)	ポンプ車	第3分団
平成20年 (第46回)	小型ポンプ	第4分団
平成22年 (第47回)	小型ポンプ	第5分団
平成24年 (第48回)	ポンプ車	第6分団
平成26年 (第49回)	ポンプ車	第7分団
平成28年 (第50回)	小型ポンプ	第8分団
平成30年 (第51回)	小型ポンプ	第9分団
令和 2年 (第52回)	新型コロナウイルス感染拡大により延期	



第49回最優秀個人賞 (2番員)

第7分団 高橋雅裕 団員



第51回最優秀個人賞 (3番員)

第9分団 勝呂勇樹 班長





# 本 団

団 長：平野 佳一  
 副 団 長：矢島 明  
 (西方面)  
 副 団 長：小沢 正和  
 (北方面)  
 副 団 長：川瀬 健治  
 (東方面)



平成31年4月から、消防団の安全管理体制の充実強化、指揮命令系統の明確化を図るために組織改編を行い、副団長を3名体制で活動しています。

分 団 長：竹村 史朗  
 副分団長：諸星 祐一  
 部 長：山 上 良  
 班 長：小林 真一郎  
 班 長：立花 歩  
 員：千葉 弘幸  
 高野 光彦  
 山崎 勝  
 柳 勇次  
 若林 健太郎  
 島村 二郎  
 植木 延行  
 神山 善郎  
 小川 依文生  
 栗原 拳一

## 第1分団



第1分団詰所（逗子5丁目4番33号）



飲食店等の店舗が最も多い地区で、JR線、京急線の駅もあり流動人口が多く、災害対応が難しい地区を管轄しています。



## 第2分団

雄史二真夫次也人生春郎  
 行昌賢 成紳哲洋英千陽卓  
 分団長：石渡  
 副分団長：小川  
 部長：神山  
 班長：犬井  
 班長：的場  
 班員：齋田塚川  
 班員：大木石  
 班員：中川木  
 班員：大石坂  
 班員：中明保  
 班員：大鈴木



第2分団詰所（桜山8丁目3番24号）

長柄桜山古墳群周辺のハイキングコースや田越川河口を管轄し、様々な災害に対応します。女性消防団員も在籍しています。



分団長：桐ヶ谷 一孝  
 副分団長：三浦 信明  
 部長：望月 国彦  
 班長：安田 悟行  
 班長：落合 正一  
 班員：松永 和宏  
 班員：中里 智行  
 班員：濱田 祐二  
 班員：濱田 雄三  
 班員：川屋 川朗  
 班員：川村 村亮  
 班員：森村 村佳  
 班員：植木 植智



## 第3分団



第3分団詰所（沼間1丁目3番8号）

アーデンヒル・グリーンヒル団地など住宅密集地の他に、神武寺周辺の山林などを管轄しています。



みどりゆたかな！

あおいうみ！



いわたし！



# 第4分団

誠行彦男 久浩 幸太 樹佑 隆佑 行  
 清文 孝徒 信翔 直圭 裕康  
 本野村 藤田 橋下 海野 橋法 谷  
 岡 星 木 佐 千 高 木 七 高 高 傳 川 志  
 分団長 : 岡 本  
 副分団長 : 星 野  
 部長 : 木 村  
 副部長 : 佐 藤  
 班長 : 千 田  
 班員 : 高 橋  
 高 木 七 高 高 傳 川 志



第4分団詰所（池子2丁目10番10号）



返子市消防団の中で平均年齢が一番若く、行動力のある分団です。小学校区や自治会の行事にも率先して参加しています。

幸春 史誠 宏人 史雄 健努 裕輔  
 輝文 隆政 武次 昌祐  
 青山 又 渡 高 山 村 岡 大 竹 渡 金 内  
 分団長 : 青 山  
 副分団長 : 河 又  
 部長 : 渡 辺  
 副部長 : 高 橋  
 班長 : 山 内  
 班員 : 村 田 岡 大 竹 渡 金 内



# 第5分団



第5分団詰所（山の根2丁目6番16号）

消防車が通行できない狭い道路が多くあり、災害対応が難しい地区を管轄しています。年齢や在団年数のバランスが取れた分団です。







# 第6分団

- 勝 幸宏
  - 廣 知克
  - 久 弘
  - 正 哲
  - 也 太郎
  - 樹 之助
  - 則 之輔
  - 大 敏
  - 正 大
  - 大 敏
  - 彦 樹
  - 樹 敏
- 田 岡
  - 藤 藤
  - 渡 間
  - 島 川
  - 岡 尅
  - 木 大
  - 田 中
  - 松 中
  - 島 松
  - 岡 島
  - 邊 渡
- 長 長
  - 長 長
  - 長 長
  - 長 長
  - 員 員
- 分 分
  - 副 副
  - 部 部
  - 班 班
  - 班 班
  - 團 團



第6分団詰所（久木6丁目2番39号）

返子ハイランドを含む人口密度が高い地区を管轄しています。久木神社の敷地内に消防団詰所があります。



- 男 幹
  - 裕 久
  - 佑 二
  - 宏 德
  - 徳 裕
  - 一 剛
  - 介 之
  - 子 撰
- 井 井
  - 井 井
  - 藤 藤
  - 木 木
  - 柳 柳
  - 子 子
  - 橋 野
  - 井 井
  - 守 田
  - 平 井
  - 永 井
- 長 長
  - 長 長
  - 長 長
  - 長 長
  - 員 員
- 分 分
  - 副 副
  - 部 部
  - 班 班
  - 班 班
  - 團 團



# 第7分団



第7分団詰所（小坪5丁目21番4号）

平成28年に返子市消防団として初めて女性団員が入団しました。返子市の中でも地域密着の色が特に濃い分団です。



あおいうみ！



みどりゆたかな！



いわとし！



分団長：東郷 実夫  
 副分団長：菊池 重威  
 部長：臼井 旬  
 班長：村松 徹  
 班長：小林 高美  
 班員：青木 康枝  
 志村 好博  
 空村 好忠  
 湯沼 裕衣



第8分団詰所（新宿2丁目2番24号）

返子海岸を主に管轄しており、津波や高潮などの災害に対応する重要な分団です。女性消防団員も2名在籍しています。



分団長：武藤 和之  
 副分団長：黒澤 義也  
 部長：井本 賀也  
 班長：勝呂 勇樹  
 班長：原 法道  
 班員：目迫 久夫  
 太田 長浩  
 東川 嘉彦  
 濱松 岳生  
 浅野 伸孝  
 小日向



## 第9分団



第9分団詰所（桜山5丁目4番5号）

救助資機材を豊富に搭載している最新型車両を配備している分団です。在団期間の長い団員が多いため、経験と知識で災害対応し活躍しています。

